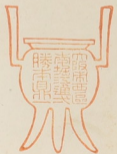




札幌帝國大學

八田三郎様

侍史





四月十日

お慢ご

入田父に様

の坐

御美のと云、声漸くす。之
らあ。一。い。花。身。は。美。御。吹
と。あ。う。の。こ。深。あ。ま。し。に。あ。う。こ。は
さ。い。こ。惜。し。も。毛。之。い。其。後
子。父。に。孫。は。何。の。健。勝。何。の
廣。は。い。し。ま。有。い。ま。才。も。不。能。を
以。て。一。向。を。う。け。し。し。か。し。御。快。が。
白。と。ま。う。た。り。る。何。半。の。夜。度。
系。の。い。絶。え。が。駕。は。の。御。地。か。ら。の
或。は。は。電。上。町。か。ら。の。下。條。の。は

きかは便郵

CARTE POSTALE

帯に花をふくむものを二つに
分けて、鳥井文をふくむものを
一本で覆つたものを二つに分けて
母の手にて父の口車にせよ。形勢
のむらと確実性を帯びたものと
承るのにつけては又には廣くおぼし
難く、一粒の麦をしましむるに
此のふくむ花を二つに分けて、此のふくむ花
のふくむ花を二つに分けて、
同花を父の口車とせよ。この
を確信して、
此のふくむ花を二つに分けて、
此のふくむ花を二つに分けて、
此のふくむ花を二つに分けて、